

No.103 緊張緩和と日本外交	年 組
	氏名

/10 問

次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

1 1955年、インドネシアの(①)で、植民地支配から独立した29か国が参加して(②) (①会議)が開かれ、平和共存を訴えた。

2 中国やソ連の支援を受ける北ベトナムや南ベトナム解放民族戦線と、(③)が戦った右の戦争を(④)という。



3 1956年、鳩山一郎内閣によって(⑤)が調印され、日本とソ連との国交が回復した。

4 1965年、日本は韓国と(⑥)を結び、韓国政府を朝鮮半島の唯一の政府として承認した。

5 1972年、田中角栄内閣が(⑦)によって、日本と中国の国交を正常化した。

6 1978年、日本と中国の友好関係の発展のために締結された右の条約を(⑧)という。

第1条 両締約国は、主権及び領土保全の相互尊重、相互不可侵、内政に対する相互不干渉、平等及び互恵並びに平和共存の諸原則の基礎の上に、両国間の恒久的な平和友好関係を発展させるものとする。(部分)

7 1972年5月、佐藤栄作内閣は、アメリカ政府と交渉を進め、(⑨)が日本に復帰した。

8 核兵器を「持たず、つくり、持ちこませず」という日本の方針を(⑩)という。

【解答】

① バンドン
② アジア・アフリカ会議

③ アメリカ
④ ベトナム戦争

⑤ 日ソ共同宣言

⑥ 日韓基本条約

⑦ 日中共同声明

⑧ 日中平和友好条約

⑨ 沖縄

⑩ 非核三原則

日本が周囲の国々との関係をどのように回復してきたのかまとめよう。